

ご挨拶

岐阜県高等学校文化連盟会長 高田広彦
(岐阜県立加納高等学校長)



本年度、岐阜県高等学校文化連盟会長に就任しました高田広彦でございます。これまでの実績を引き継ぎ、本県高校生の文化・芸術活動が発展・振興するように努めてまいりますので、皆様の温かなご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

本連盟は昭和54年に演劇、吹奏楽、合唱、器楽、美術・工芸、書道の6専門部会から発足し、県内高校生の文化活動を後押しする活動を続けてまいりました。

その後、新たな部会が次々と加わり、現在は合計17の部会を擁する組織に発展しております。

本連盟は、毎年夏に開催される全国高等学校総合文化祭への県内高校生の派遣、秋の岐阜県高等学校総合文化祭の開催、各専門部会の個別活動への支援を3本の柱としまして、文化系部活動の後押しをしております。

近年、県内の高校生の熱意が花開き、様々な分野で全国入賞を果たす部活動も増えてまいりました。具体的には、昨年8月に長野県で開催されました第42回全国高等学校総合文化祭(2018信州総文祭)におきまして、鶯谷高校の囲碁将棋部が将棋部門女子団体で準優勝、多治見北高校放送部が放送部門アナウンス分野で優秀賞、東濃実業高校箏曲部が日本音楽部門で優良賞、長良高校書道部が書道部門で特別賞、岐阜東高校写真部と大垣西高校写真部が写真部門で奨励賞、可児工業高校の電気システム部が産業(工業)部門マイコンカーラリー大会アドバンストクラス優勝という素晴らしい成績を収めました。

また、秋に県内各地で開かれる岐阜県高等学校総合文化祭は、岐阜県内の高校生が、それぞれの分野にかける情熱や磨かれた技術を披露する大変見ごたえのあるイベントとなっております。

平成23年には、こうした生徒の皆さんの活動をさらにバックアップできるよう、当文化連盟のホームページを開設しました。当連盟のPRはもちろん、各専門部会の運営に必要なコンテンツも日々増やしてきております。これからも県内高校生による文化の継承及び発展に少しでも貢献できるよう一層の充実に努めてまいりますので、ご活用くださいますよう、お願い申し上げます。